

令和 7 年 11 月 6 日

令和 7 年度第 2 回消費生活意識調査結果について

1. 調査の目的とテーマ

「消費生活意識調査」では、消費者の意識や行動、消費者問題等について、その時々
のテーマで随時調査を実施しています。令和 7 年 10 月は、「エシカル消費」をテーマに
調査を行いました。

2. 調査の方法

全国の 15 歳以上の男女 5,000 人を対象に、インターネットによるアンケート調査を
実施。

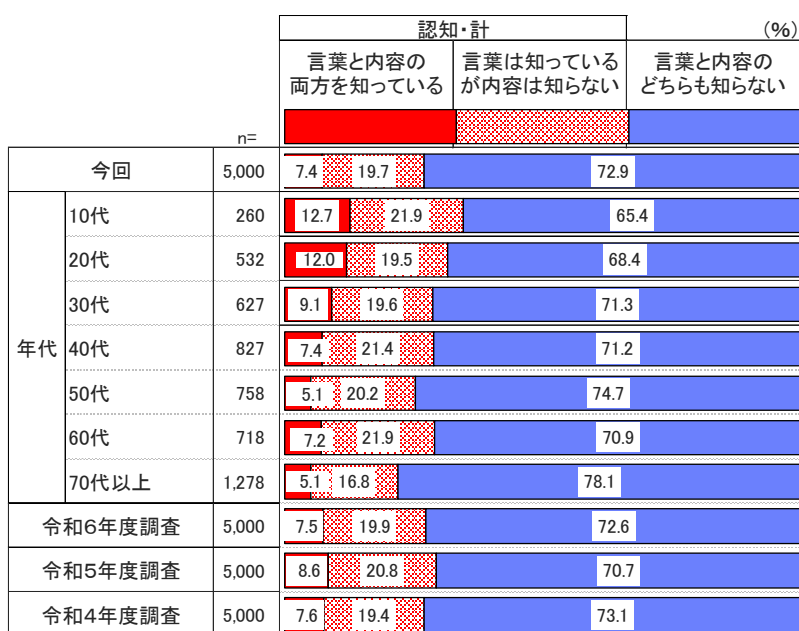
3. 調査結果のポイント

(1) 「エシカル消費」の認知度について

「エシカル消費（倫理的消費）」を知っているか聞いたところ、知っていると回答した
人（「言葉と内容の両方を知っている」又は「言葉は知っているが内容は知らない」と回
答した人）の割合は、27.1%であり、昨年度と同水準であった。年代別では、10 歳代の認
知度が最も高い。

※ 令和 6 年度「消費生活意識調査」におけるエシカル消費の認知度（全体）は 27.4%

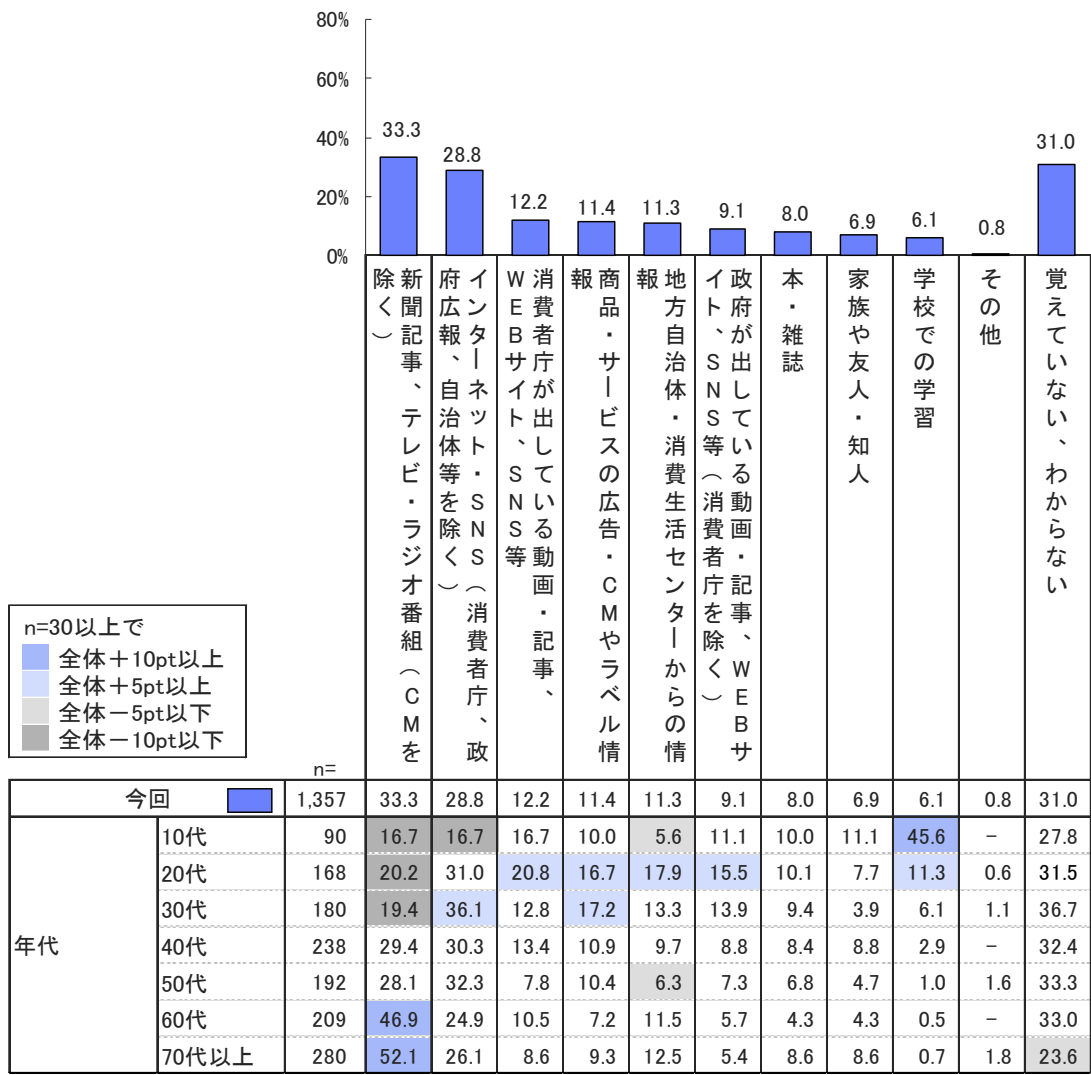
図 1 エシカル消費の認知度



(2)「エシカル消費」の言葉や内容の情報源について

「エシカル消費」の言葉や内容をどの情報源から得ているか聞いたところ、「新聞記事、テレビ・ラジオ番組（CMを除く）」をあげた人の割合が最も高く 33.3%であった。10 歳代では「学校での学習」をあげた人の割合が最も高く 45.6%であった。

図2 エシカル消費の言葉や内容の情報源



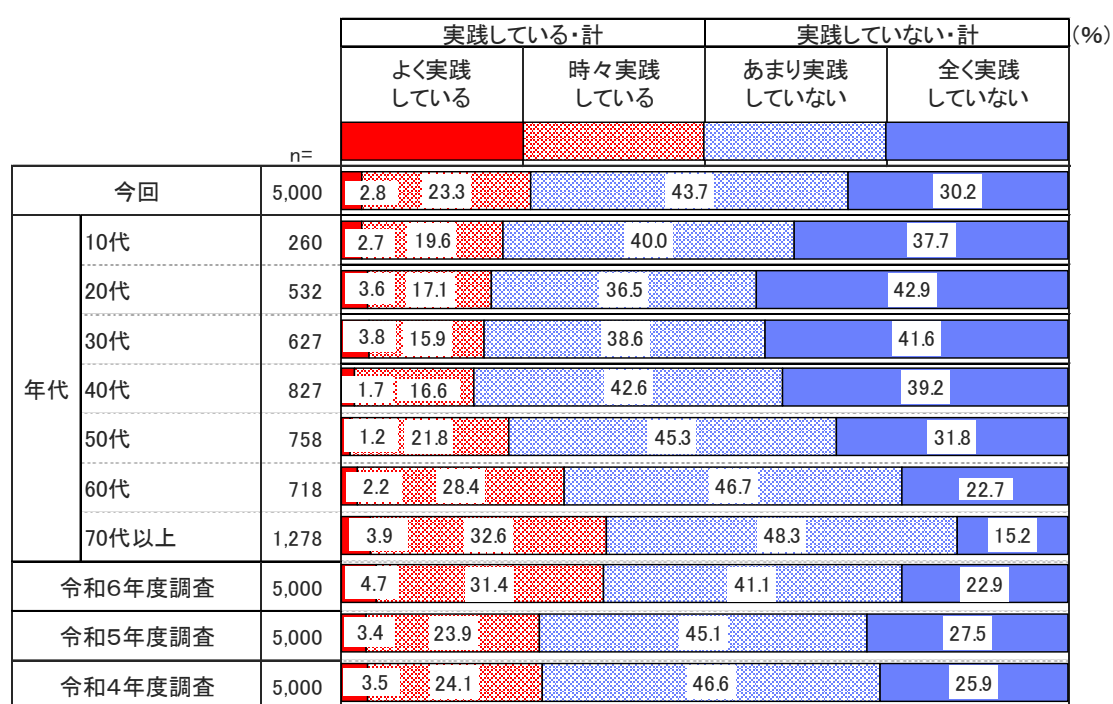
※複数回答

(3)「エシカル消費」の実践度について

「エシカル消費」をどの程度実践しているか聞いたところ、実践している人（「よく実践している」又は「時々実践している」と回答した人）の割合は26.1%であり、昨年度から減少した。年代別では70歳代以上、60歳代の順に実践度が高い。

※ 令和6年度「消費生活意識調査」における「エシカル消費につながる行動」の実践度（全体）は36.1%

図3 エシカル消費の実践度

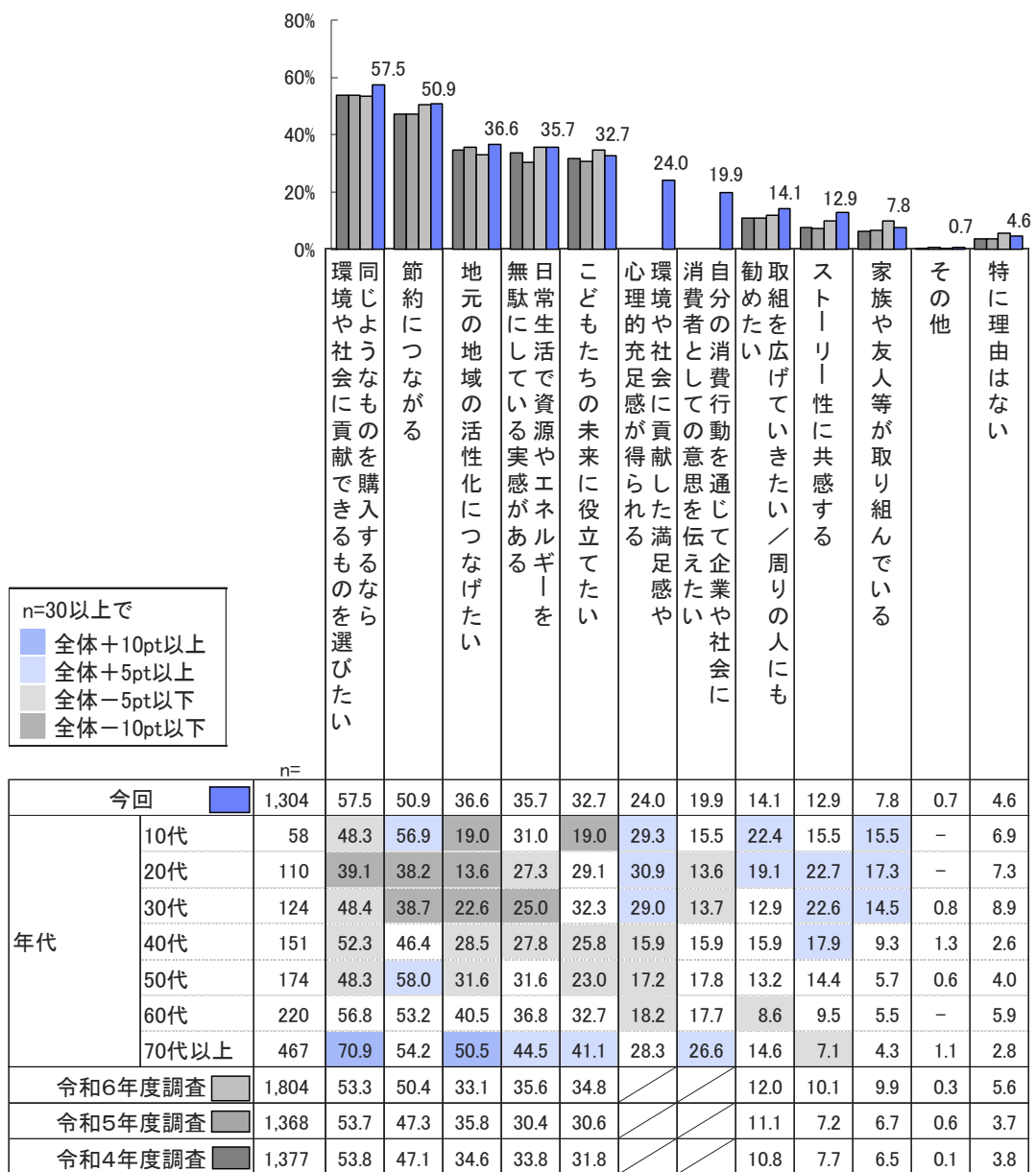


(4)「エシカル消費」に取り組む理由について

「エシカル消費」を実践していると回答した人に「エシカル消費」に取り組む理由について尋ねたところ、「同じようなものを購入するなら環境や社会に貢献できるものを選びたい（57.5%）」、「節約につながる（50.9%）」が上位となった。

年代別でみると、10歳代～30歳代は「環境や社会に貢献した満足感や心理的充足感が得られる」、「ストーリー性に共感する」、「家族や友人等が取り組んでいる」と回答した人の割合が全体に比べて高くなっている。

図4 エシカル消費に取り組む理由

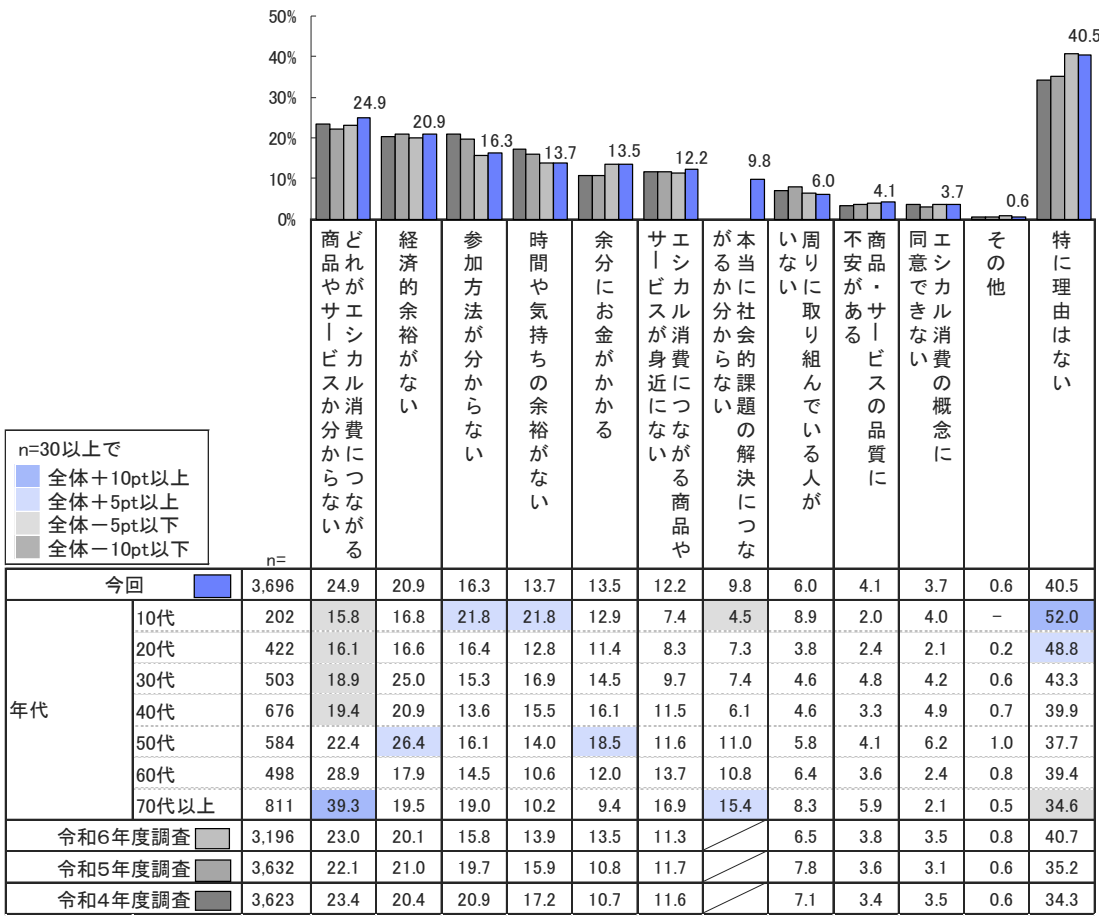


※複数回答

(5)「エシカル消費」に取り組まない理由について

「エシカル消費」を実践していないと回答した人に「エシカル消費」に取り組んでいない理由を尋ねたところ、「どれがエシカル消費につながる商品やサービスか分からない（24.9%）」、「経済的余裕がない（20.9%）」、「参加方法が分からない（16.3%）」が上位となっており、昨年度と同様の傾向となっている。

図5 エシカル消費に取り組まない理由

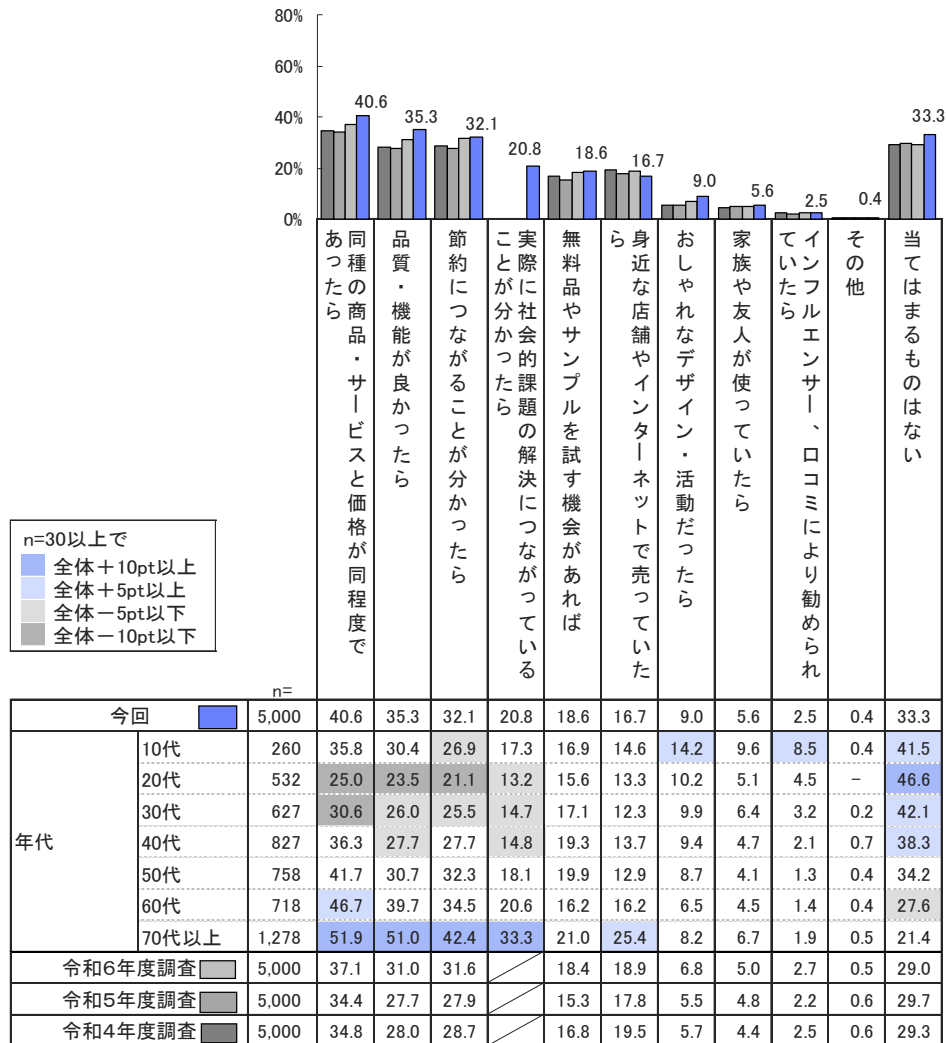


※複数回答

(6)「エシカル消費」を実践するための条件について

「エシカル消費」を実践したい又はもっと実践したいと思う条件を尋ねたところ、「同種の商品・サービスと価格が同程度であったら（40.6%）」と回答した人の割合が最も高く、次いで「品質・機能が良かったら（35.3%）」、「節約につながるものが分かったら（32.1%）」となっている。

図6 エシカル消費を実践するための条件



※複数回答

調査に関する問合せ先

消費者庁参事官（調査研究・国際担当）

TEL：03(3507)9330（直通）

内容に関する問合せ先

消費者庁消費者教育推進課

TEL：03(3507)7567（直通）